

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月21日更新

事務事業名		夏休みスペシャルおはなし会実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課
	基本事業	67	学習への参加機会の提供			所属班	図書館班
予算科目	会計一般	10	5	8	10805	法令根拠	
	成果優先度評価結果	⑤					
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
						コスト削減優先度評価結果: ⑨	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市内の小中学生からボランティアを募り、図書館職員と一緒に小さい子どもたちへの読み聞かせを行う。夏休み期間中に実施。平成15年度より、図書館利用率の低い中学生を対象とした事業はなにか出来ないかと考え開始した。当初は積極的にボランティアに参加希望する子どもが少なかったが、平成23年度は定数6名に対し13名の申し込みがあるなど希望者がここ数年増加している。一度ボランティア体験した児童が翌年友達を誘って申し込むというケースが多く、増加するボランティアへの対応が難しくなっている。夏休みのイベントとして定着している。
【業務の流れ】	市内の小中学生からボランティアを募り、図書館職員の担当を決める。小中学生に指導しながらおはなし会の会場準備・市民への周知をする。
【主な予算費目】	報酬、報償費、需用費(消耗品費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	おはなしに語りとして参加した子ども、観客として参加した方々も概ね、楽しかったとの意見だった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
小学生ボランティア9名、西合志中学校2年生図書委員7名による、影絵・人形劇・大型絵本・手遊び・紙芝居カード・ペープサートを行った。	今年度同様に8月に実施予定。「子どもの読書活動推進事業(10600)」に統合	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:開催回数	回	(10600)子どもの読書活動推進事業に統合のため減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
ボランティアについては、市内の小学校上級生及び中学生。おはなし会参加者は、図書館利用の小学生以下の子ども及びその保護者。	人	→ア:市内小学生数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
小さな子どもたちへの読み聞かせを体験することにより、おはなし会の楽しさを実感し創造性を養う。	人	→ア:おはなし会ボランティア参加者数
	人	→イ:おはなし会に参加した人数
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画
「おはなし会ボランティア参加者数(成果指標ア)」は、指導する職員数の対応時間やスムーズな進行を加味し5~6名が望ましい。23年度は、それを大幅に上回る申し込みがあり、対応に限界を感じた。「おはなし会に参加した人数(成果指標イ)」の目標指数値設定の根拠は、会場である「集会室」の安全な収容人数の上限である。		~年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回	1	1	1	1				
	イ									
②対象指標	ア	人	3,582	3,700	3,700	3,901				
	イ									
③成果指標	ア	人	4	11	6	16				
	イ	人	56	114	80	53				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		4	4	5			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	4	6	6	3			
		(A)事業費計	千円	4	10	10	8			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	4	3	4	3			
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	110	80	20	174				
	(B)人件費計	千円	437	329	82	702				
トータルコスト(A)+(B)		千円	441	339	92	710				

事務事業名	夏休みスペシャルおはなし会実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE) \*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 過去のボランティア参加者による口コミで、ボランティア希望者は募集人数より大幅に上回った。しかしながら、おはなし会参加者の人数は目標値達成できなかった。考えられる理由として、「菊池都市の童話発表大会」の都合、開催日を例年より1週間遅くしなければならなかったこと。昨年在、会場の収容人数を超える参加者があり、これ以上の増加は危険なためチラシやポスターによる宣伝を、若干弱めたことが考えられる。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 本年ボランティア参加者が、「来年も参加する」と意欲的である。おはなし会参加者は、本年の反省に基づき宣伝すれば解決すると思われる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 会場の収容人数に限りがあるため、参加者数の著しい増は見込めないが、ボランティアに適切な指導を行い、中学校の司書と連携を密にすることで、より内容の深いおはなし会が実現できる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 今のところ他に中学生が主体となって実施する事業がないため、統廃合はできない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ボランティアの子どもたちにも薄謝を渡すだけなので、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の時間で事業をしている。削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 図書館法により図書館で主催する事業は無料で行わなくてはならないため、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地区単位、学校単位で児童・生徒による読み聞かせを行っているところはあるが、合志市内の全ての小(5.6年生)・中学生に参加する機会を提供できるのは公共図書館において他に無い。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

想定数を超えるボランティアがあつまり、企画や指導に苦慮した。次年度は、さらにボランティア希望者が増えることが想定される。さて本年度も、参加してくれた児童・生徒が意欲的であった為、完成度の高いおはなし会を行うことが出来た。参加した児童から「わたしも、大きくなったらボランティアしたい」という声が聞かれ、参加者が次は演じ手へと世代交代していくことが期待される。子どもたちの熱意を無駄にしないためにも、職員の資質を向上し、継続して実施していきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>ボランティア募集方法に検討課題が残る。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>増加するボランティア希望者を感情的にはすべて受け入れたいが、イベント成功のためには何人か断ることもやむを得ない。募集の年齢を上げるのか、先着順にするのか、またはオーディションにするのかなど、次年度は十分に検討し募集したい。</p>																						